



2016.6.19 信者全体集会

神の国を目指して

主任司祭 B・ノヴァク神父

イエス・キリストが私たちに与えてくださった様々な約束の中で、中心的な約束とは、神の国の実現という約束です。イエスは、ご自分の言葉と行いによって神の国の素晴らしさを表してくださいました。聖ヨハネは黙示録の中で、神の国を次のように描いています。「見よ、神の幕屋が人の間にあって、神が人と共に住み、人は神の民となる。神は自ら人と共にいて、その神となり、彼らの目の涙をこごとくぬぐい取ってください。もはや死はなく、もはや悲しみも嘆きも労苦もない」(黙21・3・4)。

言うまでもなく愛の完成による神の国の実現は、人間にとつて最高の幸福の状態、しかも、永遠に続く状態なのですが、憎しみや無関心、不正や争い、また他の悪や苦しみに満たされている世界、しかもますます悪化している世界の現状を見ると、この世界は本当に神の国に向かっていないのかと疑っても不思議ではありません。それよりも、世界は自己破滅の道を歩んでいて、全滅に向かっていることを信じる方が簡単かもしれません。

イエスが教えてくださるように神の国は、世界の歴史の流れの自然な結果ではなく、神の働きの結果なのです。創造主であり全能の方である神は、いつでも、人間が最も相応しくないとする瞬間にも、神の国を完成することができます。そういう意味で、世界の未来を表しているのは、現在の世界の状況ではなく、イエスの約束なのです。

イエスの約束がもたらす希望と喜びに満たされ、神の国を目指して生きることによって、神の国についての良い知らせを宣べ伝えることができますように祈りましょう。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

信者全体集會

日時…6月19日(日)11時
場所…マリア館2階ホール
司會…小池 副運営委員長

1. はじめの祈り ボクダン師

2. 主任司祭挨拶 ボクダン師

南山教会の共同体のために参加して下さる皆様に感謝します。いろいろな会が活動されている中で、興味のある会には是非参加してみてください。

社会福音化推進委員会の設立が議題に上がったが、南山教会は各会が意識を持って活動し、社会に貢献できている。

南山教会の課題は、教会の大規模補修です。

現在、名古屋小教区で働いている司祭には毎月15万円の生活費を支払う制度が検討されている。この制度が導入されると、現在維持費と献金から名古屋教区に支出している11%から40%以上に変更される案が出ている。それは、南山教会にとって可能であるかどうか真剣に検討すべきです。

3. 運営委員長挨拶

運営委員長再任に伴い、16年度、17年度も務めさせていただきます。

教会老朽化に伴う今後の対応について。

信者全体で、仲よく協力して南

山教会のために頑張りましょう。意見の食い違いもあるかと思いますが、家族として前に進んでいきましょう。

○ 運営委員会の活動と進め方

規約について。次の新しい運営委員長についてはヨセフ会とマリア会の中から1人ずつ選び、主任司祭が決定する。

○ ご意見・ご要望

葬儀の時のお花料辞退が増えている。教会にとって財政が苦しくなっている要素ではないか。↓確かに事実としてあるが、それは家族の事情であり、別途家族からの献金はある。最近は家族葬が多い。車の入口と出口を明確化したほうが良いのでは？前に出口から入ってきてぶつかつた車があった。↓現在も入口、出口の表示はあると思うが、一方通行など、付け加えていくことを検討したい。

○ その他

4. ヨセフ会活動報告 小池会長

教会美化で出たゴミの持ち帰りについては、名古屋市外からの方でも持帰りできるように検討中。救急法講習を7月に開催予定。

5. マリア会活動報告 今枝会長

班に属している方は100名程度だが、実際に動いているのは60名程度。高齢化が進んでいて、班によって偏りがある。会に属して

いない方で、興味のある方は是非お問い合わせください。

周りの方を是非誘ってください。

6. 広報委員会より 松田委員長

月報の発行と、ホームページの管理。ミニ・バチカン展が東京で7月3日に開催される。

7. 財務委員会より 伊藤委員長

黒字…1,500万円程。納骨堂の永代祈祷料収入が続いている。建物の修繕にあまりかからなかった。

貯金…5,800万円程。これは、今後の修理費、備品購入を見ないといけないので、足りないと感じている。納骨堂の永代祈祷料収入が減っていく見込み。修繕については、有識者からのアドバイスを是非もらいたい。後継者について知識を持った方、決算書を作れる人は、自薦他薦問わずに募集したい。

8. 典礼委員会より 新内委員長

後継者を募集している。典礼奉仕者の会と連携を取りつつ動いている。今後とも皆様のお祈りをよろしくお願いいたします。

質疑応答

・ホームページに、財務の詳細を載せていいものか。↓運営委員会でも協議した結果、問題ありません。

・黒字や貯金が出ていると、周り

からは南山教会は裕福だと思われる。5,800万円のうち3,200万円は修繕積立の為の定期預金としている。

9. 営繕委員会より 伊藤委員長

資料に基づいて報告された。信徒でやる維持管理のための作業のガイドラインを作成していきます。

・大聖堂・鐘樓の2007年の診断では、倒壊基準に満たない結果が出た。信徒会館(カトリック会館)の稼働率はまだ高いが、調査を実施していない。老朽化に対してのメンテナンスに莫大な費用がかかるが、長期的な計画がない。6月11日に大規模改修プロジェクトチームを発足。

10. 納骨堂管理委員会 泉委員長

これまでの契約件数…4体用↓243件(6割弱の契約)8体用↓29件(約5割の契約)共同用↓73件(約4割の契約)申し込みを受けた時から40年間の契約

契約件数は徐々に減ってきている。まだ余裕があるので、検討されている方がいらっしゃれば声をかけるなど協力をしてほしい。

11. オルガン管理委員会 水谷委員長

2014年にパイプオルガンの

オーバーホールを行った。御寄附をありがとうございました。

オルガンリストは、弾いた日に必ず湿度などの記録を取っている。

2015年11月に点検を実施、不具合のあった部品を交換。今後も部品の劣化が見込まれるため、費用を検討していく。

オルガンに触れ合う会を実施。

12・宣教司牧評議会・信徒使徒職協議会 宣司評・信徒協委員

ヨセフ会2人、マリア会2人の4人で動いている。城東ブロック会議などに出席している。

9月25日に、城東ブロックの集いを松浦司教にお越し頂き開催する。南山教会が担当。場所も南山教会。

13・今年度教会バザーの準備状況

松浦委員長

良い宣教活動の機会となりますので、キャッチフレーズを是非ご提案ください。

14・上記以外の団体の活動

典礼奉仕者会

典礼奉仕者全体集會に沢山の方向がご参加いただき、ありがとうございます。

南山教会がさらに豊かになるため、皆様の積極的なお声掛け、ご参加をお待ちしております。

子ども部屋

土曜日に開催。是非ご参加ください。

教会学校

毎週日曜日の9…30ミサ後に信徒会館で開催。お菓子を食べたり、お祈りしたりしています。

レジオ・マリエ

水曜日の夜と金曜日の昼にお祈りをしています。

中高生保護者会、中高生会、青年会、大樹の会、英語のミサグループ、手話の会、要約筆記者の会、

ポーンスカウト、聖ラザロ村友の会、(四木会)

質疑応答

・在籍信徒者数の管理は、紙ベース？データ？セキュリティは大丈夫ですか？↓セキュリティは問題ありません。不明者については、連絡が取れていない方々。全体の約1割が連絡取れていない。

15・おわりの祈り

この全体集會は、当教会運営委員会規約に基づいて開催致します。

第8条(信者全体集會)

本会は、毎年1回、信者全体集會を開催して、教会の方針、主要課題、具体策の周知を図るものとする。また、信者から教会の活動、信者としての社会生活の営み、福音宣教等について率直な意見、要望を取り上げ、教会運営に役立てるものとする。

典礼奉仕者全体集會

伊澤美由紀

6月12日に行われた典礼奉仕者全体集會のはじめに主任司祭より典礼奉仕者全体に日頃の奉仕への感謝の気持ちで伝えられた。その後典礼奉仕全般についてお話しいただいた。奉仕のやり方については典礼委員会・主任司祭の指示に基づくべきで、個人の好みに合わせることはできないし、司教団の取り決めもある。やり方は全体を考えて決めてある。奉仕に携わっている人と人から色々と言われる(批判や称賛)かもしれないが、それは奉仕者個人にはなく、やり方等については主任司祭、教会へ言われたことになる。そのことを理解して、その様々な意見を受け入れる覚悟を持ち奉仕に臨んでいただきたい旨話され、そして神に感謝して、よりよく奉仕していけば、それが本来的な奉仕につながる。と熱く語られた。また、「教会の代表であるという意識を持ちなさい。」といった力強い言葉で奉仕者全体を勇気づけられた。

仕者の役割はいろいろあるが、それぞれの役割の人が一緒に神様の道具としてごミサを捧げ、いただいた御言葉、信仰の炎、派遣の祝福を心に刻みながら、「家に帰る」のではなく派遣され「宣教に出かける」。助祭は「感謝の祭儀を終わります。行きましよう主の平和のうちに。」と。言葉を宣言し祭儀を散会させる。このように奉仕者は宣教にでかける手伝いをしていくのだと熱意をこめて語った。

その後、寄せられたご意見・ご質問(4つ)についての回答が示された(当日、典礼奉仕者にプリントを配布)後、二つのグループに分かれて話し合った。

○進行係を中心としたグループでは、主に

・聖歌案内アナウンスについてどうなっているか。全ての時間帯の主日ミサの聖歌案内を統一したらどうか①

・聖歌番号表示板に関して、聖歌番号プレート数字によっては不足のプレートがある。②

○先唱者と朗読者グループでは、主に

・アレルヤ唱の動きに関して③
・先唱者の負担が大きいのではないか、朗読者が共同祈願を唱え、

さらに典礼委員長から、典礼奉仕を仕事と混乱している方がいるようだがと指摘があり、典礼奉仕は仕事とは異なることを理解していただきたい旨、話があった。奉

神の言葉が命の糧となるために

・聖書を読む人のための手引き・

(1)



主任司祭 B・ノヴァク神父

数えきれないほど多くの人々が経験した通りに、聖書には、人間を励まし、力付ける力、また、間違った生き方を変え、人生を有意義なものにする力、そして、真の幸福に導く力があるのです。それは、私たち自身と私たちが生きているこの世界を創造してくださった神の言葉、言ってみれば、人間の創造主である神が私たちに与えてくださった「人生のマニュアル」であり、すべての時代、すべての文化、あらゆる状況に生きている一人ひとりの人のための個人的な導きであるからです。第二バチカン公会議のときに教会が

教えたように、「聖書において、天におられる父は、聖書の中で深い愛情をもって、自分の子らと出会い、彼らとことばを交わす」（『啓示憲章』21）。つまり、聖書は、人間にとつて、慈しみ深い父である神と出会う場、また、対話する場にな

れるからこそ、ヘブライ人への手紙の中で書き記されているように、「神の言は生きていて、力が」（ヘブ4・12）あるのです。

けれども、聖書はそれだけ素晴らしくて、無数の書物の中で最も重要な本であっても、非常に難しいものでもありません。聖書を読んでみた多くの人々は、神の言葉の力を体験する代わりに、この難しさに負けて、読むのを辞めてしまいます。聖書を忍耐強く読み続ける人の中には、読む言葉によって、励まされる、また、生かされる代わりに、ますます混乱し、戸惑い、場合によっては、読んだことに躓いて、聖書からだけではなく、信仰や神ご自身から離れてしまう人もいます。やっばり、預言者イザヤの書を朗読していたエチオピア人の宦官が、「読んでいることがお分かりになりますか」というフィリポの質問に答えて、「手引きしてくれる

人がなければ、どうして分かりましょう」（使8・30・31）と答えた通りです。

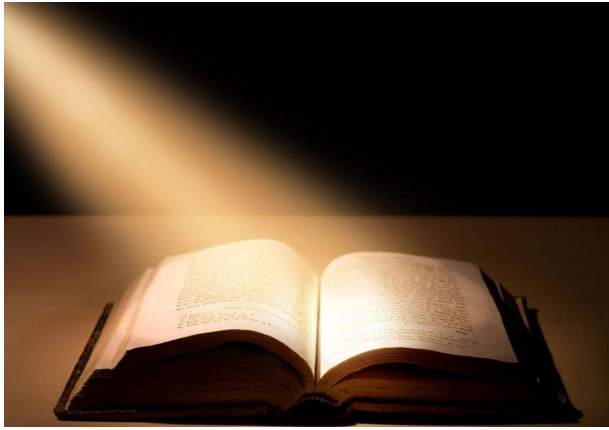
皆さんにとつて聖書は、父である神と出会う場、また、神と対話する場、結果的に永遠の命の糧、つまり、イエス・キリストとの交わりを深め、愛における成長を促すものとなるために、聖書の特徴、聖書の解釈、聖書が作成された過程、また、神の言葉の黙想について、なるべく分かりやすく説明したいと思えます。この説明が多くの人手にとつて、聖書を読むための導きとなり、聖書の読書が実り豊かなものとなるようにお祈りします。

1. 神の作品であり、人間の作品である聖書

聖書は、一冊の本に見えても、実際に73冊の本を集めている「図書館」のような書物なのです。聖書の中に入っている一冊古い文章は、紀元前10世紀に書かれたものです。一番遅い段階で書かれた文書は、西暦1世紀のもの。つまり、聖書は、1000年以上の間に作成

されて、非常に多くの人が書いた文書、しかも、複数の言語（ヘブライ語、アラム語、ギリシア語）で、いろいろな所で、いろいろな政治的や経済的な状況において書かれたものです。聖書において、歴史的な物語やたとえ話、預言的や黙示的、また、詩的な表現形式とその他の文学類型が使われています。

それほど多くの相違を持つている書物は、なぜ、一つの聖書になっているのでしょうか。それは、聖書に含まれているすべての書物に一つの重要な共通点があるからです。この共通点とは、共通の作者、つまり、神ご自身なのです。実は、聖書が、他のすべての書物と違って聖なる書であるのは、そのためなのです。勿論、神が聖書の作者であるとは、神ご自身が文書を書かれたということではありません。553年にコンスタンチノープルで開かれた公会議の中で、教会は、次のように教えましました。「尊き母なる教会は、旧約および新約の全部の書をそのすべての部分を含めて、使徒的信仰に基づき、聖なるもの、正典であるとしています。なぜならそれらの書は、聖霊の靈感に



よって書かれ、神を作者とし、またそのようなものとして、教会に伝えられているからです」(第2コンスタンチノーブル公会議)。

第2バチカン公会議の公文書の中でカトリック教会は、聖書が聖霊の靈感によって書かれたことを次のように説明します。「神は聖書を作り上げるにあたってはある人々を選び、彼らの才能と能力を利用してつつ採用したのである。こうして、神が彼らのうちで彼らを通して働く

ことによって、彼らは真の作者として、神が欲することのすべてを、またそれだけを、書き物によって伝えたのである」(『啓示憲章』11)。

要するに、神は主な作者であっても、唯一の作者ではありません。言われた言葉をのみ書き記す秘書のようではなく、神から受けた啓示を、個人の才能と能力に応じて自分の言葉で文書を書いた人間である聖書記者も真の作者です。そのために、聖書の言葉は、神が伝えたいと望まれたことだけでなく、文書を書いた人の性格や趣味、また、その人の知識や世界観、また、当時の常識や、考え方などが見られるわけです。

神の作品である聖書は、同時に人間の作品でもあるとは、大きな神秘です。実は、この神秘は、イエス・キリストが真の神であり、真の人間であるという神秘と同じです。この神秘について教会は、次のように教えています。「かつて永遠なる父のみことばが人間の弱さをまとうた肉を受け取って人間と同じようなものになったのと同様に、神のことは人間の言語で表現

されて人間のことばと同じようなものにされた」(『啓示憲章』13)と。イエス・キリストは、罪を除いて他の人と同じ人間になったように、聖書においても神の言葉は、誤りを除いて人間の言葉と同じものになったのです。言い換えれば、人間の言葉となった神の言葉は、真理を誤ることなく伝えているということです。それについて、カトリック教会のカテキズムに次のように書いています。「靈感によって書かれた書は、真理を教えます」(カテキズム107)。

また、『啓示憲章』には、次のように書かれています。「それゆえ、靈感を受けた作者すなわち聖書記者たちが主張していることはすべて、聖霊によって主張されているとしなければなりません。したがって、聖書は、神がわれわれの救いのために聖なる書として書き留められることを欲した真理を堅固に忠実に誤りなく教えるものと公言しなければなりません」(『啓示憲章』13)。

聖書を正しく理解するために、少なくとも、聖書に対して根拠のない期待を持たないために、聖書が誤

りなく伝えていられる真理の特徴を意識しなければならぬので、それは、私たちが、自分の救いのために必要としている真理なのです。言い換えれば、私たちは、聖書を読むのは、天文学や物理学、また、医学の周辺に入っている事実、また、歴史的な出来事に関する事実を知るためではありません。なぜなら、そのような知識は、救いの恵みを受けるために必要ではないからです。考えて見れば、優れた学者になっても、世界の構成や人間の体の構成を知るようになることも、人生の目的やその意義、また、正しい生き方を知らない可能性、また、実際に正しく生きていない可能性があるのでしよう。逆に、難しい科学を知らなくても、正しく、つまり、創造主である神の意志と同時に、人間の本質に沿って、つまり人間らしく生きることが可能です。聖書においては、このような真理、つまり、創造主である神が人間のために定めた目的に向かつて歩むために必要な真理のみを見出すことができます。

7月3日

◎ 司祭団より..

教会の電気故障について、電気系統が古くなっている。工事の見積もりを依頼したら、およそ800万円であった。LED化も促されている。7月10日の営繕プロジェクト会議にて、不要な項目を減らすことを検討しながら、今後、見積もりは複数業者からもらい、最終的には営繕委員会にて決定する。

◎ 報告・連絡事項

6月12日、典礼奉仕者全体集会

11..00~12..00にて開催し、45名が参加した。詳細は、別途月報内の報告をご覧ください。

6月19日、信者全体集会

参加者 信徒74名、司祭2名

2015年度の活動記録を委員会、団体から提出し、ボクダシ師にまとめていただいた。

大規模補修の進め方についての説明がなされた。

参加者より、種々の意見がなされた。議事内容については、別途月報内の議事録を参照してください。

7月3日、司教叙階・金銀祝

14時より司教叙階ごミサ開催。南山へのお願ひ事項の段取り。侍者、パーティー用のケーキ

他 神戸氏がパーティーの司会。7月9日(土)10時、第9回オルガン管理委員会開催

①2015年度のオルガン点検、修理及び決算の内訳報告

②2016年度のパイプオルガン定期点検と今後の計画的な部品購入計画について話をする予定。

7月24日、救急法講習会準備状況

日赤に開催の依頼を申し込み済み。40名程度の参加を見込んでいる。内容は例年通りの予定。

8月6日、9日..平和の祈り

例年通り開催予定。8月6日(土)平和の祈り8時ミサ小聖堂。8月9日(火)平和の祈り10時聖体礼拝 小聖堂。原爆投下

時間に南山教会の鐘楼の鐘を鳴らす予定。

8月14日、聖母被昇天祭

マイクのセッティングを主任

司祭から、典礼委員会を通じて酒井さんに依頼してもらう。

マリア像周りには当日駐車を御遠慮頂く。

8月15日(月)聖母被昇天のミサ

朝7時小聖堂 19時大聖堂 営繕委員会からの報告

6月25日 カトリック会館のトイレを1F男子、2F女子トイレに変更した。

大規模補修プロジェクト発足、第1回打ち合わせを、過去11日の開催。その結果、鐘楼が大きな問題となっており、耐震補強は多額の見積もりが出ています。建て替えの検討も視野に入

れて話が進む見込み。今後はコンサルタントに調査計画を立案してもらおうようにする。次回は7月10日に打ち合わせを開催予定。

◎ 審議・相談事項

8月28日、避難訓練について

車椅子、ストレッチャー、担架の準備と、それらに乗る人の選定が必要。必要時間の計測↓ヨセフ会会長が担当。ヨセフ会の担当班と役割分担の決定

講評時のお茶の段取り↓マリア会にお願いしました。

9月11日、敬老会の準備について

75歳以上の信徒の方々への参加確認。余興等の段取り お弁当の手配

会場のセットアップ(ヨセフ会)

(南山小学校のお琴演奏、教会学校からの祝い、中高生会からのお祝い、小出さんの歌を予定)

バザー実行委員会より

進捗報告と課題↓平針教会のテントを借りずに、ブルーシートを借用する。

キャッチフレーズの募集が締め切られ、審議の結果、次のように決まった。↓「よろこび 仕えあおう みんないっしょに―神の慈しみの特別聖年―」

バザー用のポスター作製を、中高生会にお願いした。

厨房冷蔵庫 故障の処遇

厨房冷蔵庫2台故障。

現状は、バザーなどで冷蔵庫はフルで使用するので必要と判断。

業務用メーカーの冷蔵庫も検討し今後の購入については必要容量分だけ購入する方向で一致

した。

◎ 各会報告 マリア会

7月1日初金のミサ後の例会が開催され、ボグダン師の祈りと講話の後、バザーの出店について話し合われました。

6月25日(土) 布池教会で行われた信徒協女性部会にマリア会から4人が出席し、分ち合いの方法を学びました。その後、別の教会メンバー達と小グループを作り、分ち合いを行いました。

ボーイスカウト

6月12日(日) ..スカウトバザーご協力ありがとうございました。総額31万円の収益でした。

・8月5日(金) ~ 9日(火) ..第2回東海4県連合野営大会にボーイ隊が参加予定。教会学校

7月22日から24日 夏季合宿
次回は9月4日

典礼奉仕者全体集会

(P. 2からの続き)

朗読者が共同祈願を唱え、教会の祈りも以前のようにしたらどうかといったことがそれぞれの

グループから出された。

これらの件に関して、全体集会後の典礼委員会で確認ならびに協議し、その結果は下記の通り。

①聖歌のアナウンスの基本は、節が飛んでいる曲の時にのみアナウンスを入れることになってくる。全ての時間帯でのミサ聖歌案内を統一することよりも、香部屋での奉仕者の祈りと打ち合わせで、オルガニストと進行係でお互いに確認し合うことが重要。二人の間で話し合い、アナウンス等入れないと決めたらその決定で構わない。各時間帯の主日アナウンスで聖歌案内が異なってもよい。アナウンスを入れる際にお互いの呼吸をとることが大切とボクダン師より指摘あり。

②プレートを点検し、準備する運びとなった。尚、「いつくしみ深く御父のように！」の歌に關しても、プレートを作成し、プリント配布での案内ではなく、賛美歌集に差し込むこととなった。

③先唱者が唱句を歌い終わった移動を開始する。

神のみ言葉を伝えることは朗読者の役割。信徒側の祈りの「導き手」として、祈りを「先」に「唱」える「者」が先

唱奉仕者の役割であるため、歌うも唱えるも先唱者の役目ということが確認された。朗読奉仕者と先唱奉仕者の皆様の役割が違ふことを、今一度確認し、ご理解いただきたい。また、話し合いの中で、先唱者の数が増えたとそれに伴い先唱者内での奉仕を分担していく可能性が示唆されたが、今回は見送ることが決定された。

○追加事項

9時30分ミサ後の聖歌の練習について、3月から聖歌隊からの依頼で大森さんが担当する旨の確認され、その練習時の伴奏についてはオルガニストの協力ですすめていくことも承認された。

典礼奉仕とは何かと考えさせられ、奉仕者間の連携を図る機会であった。皆様に感謝いたします。参加者45名。

ミニバチカン展開催

7月3日 高円寺教会にて

予想していたよりも規模が大きく展示品のすべてに感動を覚えました。このイベントが全国津々浦々に広がることを希望します。(Kさん) 素晴らしい内容でした。神様の保護と祝福が豊かにある事実を実感しまし



た。時に適した人物を与えて下さる神、どんな時も神の眼差しているであって、決して悲観してはならない、神の計らいを信頼し互いに励まし合いながら生きていきたいと思いました。良いひと時をありがとうございました。さした。ご苦勞様でございました。(Wさん) 今日には思いがけず素晴らしい展示品をみせて頂き感動です。パパ様の行動、お話を見れば見るほど知れば知るほど深いと思えました。後樂園のミサを思い出しあの時の感動がよみがえってきました。ミサの二年後に洗礼を受けて本当に良かったです。神に感謝です。(匿名)

南山句会

平成二十八年六月八日



蜘蛛の糸きらりと揺るる雨後の朝

公子

夏霞病窓よりの名古屋城

美智子

万緑や水面にも満ち時止る

一藤

中仙道ひと呑みにする森若葉

豊子

ロボットのエミちゃんと見る梅雨の庭

光子

広島に熱き涙や新樹光

せつ子

晩年の母の想ひ出桐の花

真喜子

すかし百合朝日を受けて輝けり

とく子

話すこと聞くことも好きさくらんぼ

牧子

信長のセミナーヨ跡黒揚羽

義子

毎月第二水曜日午後一時半

マリア館二階集会室

信者の消息

受洗

おめでとうございます

6/26 マリア トラン・ニャット・アン

転入

ようこそ

コルベ ^{いとう きよし} 伊藤 潔 (江南教会)
 モニカ ^{いとう ますみ} 伊藤 満寿美 (江南教会)
 アンジェラ・メリチ ^{ほらさわ ちとせ} 洞澤 千登世 (松本教会)
 マリア・ファチマ ^{はたぶ まさみ} 畑生 優美 (大和八木教会)
 ミカエル ^{はたぶ たかとし} 畑生 昇俊 (大和八木教会)
 ラファエル ^{はたぶ まさひろ} 畑生 征洸 (大和八木教会)

いつくしみの特別聖年



「わたしたちのまなごしを、もっと真剣にいつくしみへと向けるよう招かれるときもあります。わたしたちが、御父の振る舞いを示す効果的なしるしとなるためです。」

これこそ、わたしがこのいつくしみの特別聖年を公布した理由です。この特別聖年は、信者のあかしがより力強く、より効果的になるために、教会にとってふさわしい時となるでしょう。」

教皇フランシスコ、いつくしみの特別聖年公布の大勅書「イエス・キリスト、父のいつくしみのみ顔」より

教会維持費

6月は1,279,398円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお願ひします。

2016年7月 - 8月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
7月		24(日)救急法講習会	1(金)マリア会例会(懇談会) 3(日)11:00 運営委員会 10(日)典礼委員会 10(日)ヨセフ会班長会 16(土)10:30子ども部屋 17(日)教会学校終業式 22(金)~24(日)教会学校キャンプ 24(日)中高生会終業式 29(金)-31(日)中高生会合宿 30(土)要約筆記付きミサ	3(日)司教叙階・金銀祝 10(日)城東ブロック会議(南山) 21(木)司祭の月集 (日)障害者の集い
8月	15(月)聖母の被昇天	6(土)平和の祈り(8:00 ミサ・小聖堂) 9(火)平和の祈り(10:00 聖体礼拝・小聖堂) 14(日)聖母被昇天祭(聖母行列) 28(日)避難訓練	27(土)要約筆記付きミサ 28(日)侍者集会	18(日)城東ブロック会議(膳棚)